

南あわじ市 平成 20 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	898
事業名	道路橋梁台帳整備委託		予算科目
担当部課名	都市整備部	管理課	会計
電話	0799 - 37 - 3014		款
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	一般会計・1
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		土木費・8款
			項
			道路橋梁費・2項
			目
			道路橋梁総務費・1目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり__元気あふれ__住んで快適なまちづくり__	
	まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番__【安全】	
	施策目標	住宅や公共施設の災害に対する安全性と、災害に対する市民の意識を高め、自ら身を守る力を育てる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に)	
		南あわじ市全域	対象人数(人)
			53,800
		意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)	
		旧町間にまたがる複数路線は、再編成することにより1路線として管理することができるなど、南あわじ市の道路・橋梁台帳を効果的に統合整備することにより、今後の維持管理費の低減を図るとともに、道路管理者として道路管理を適切に行うことを目的とする。	
実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)		
	平成19年度に都市計画課で実施した「南あわじ市数値地形図作成業務」で、道路部の数値データも取得しており、そのデータを最大限活用し、より安価で効率よく道路台帳整備を行う。また、将来的には、統合型地理情報システム(GIS)において多目的に利用可能なデータ構築を行う。		
背景、委託根拠	(どのような現状・課題・要望があったか、また委託に至った根拠、他の自治体の動向)		
	地方交付税(普通交付税)の道路橋梁費の算定において、合併市町村は、市町村の合併に関する特例に関する法律により、合併後15年間は、旧町ごとの道路台帳数値の合計を合併前の各町ごとの数値で比例案分することで算定できるが、今後、道路管理を適切に行うためにもできるだけ速やかに新市の統一した道路台帳を作成する必要がある。		
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 民間・その他	()
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~ 平成
		年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町	<input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町
	<input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町	<input type="checkbox"/> 旧広域事務組合	<input checked="" type="checkbox"/> 新市から

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	市道延長・面積の増減	指標単位 k m			
	指標説明 (指標算出方法等)	新設道路・県道より移管された道路・新規認定道路による市道延長等の増加、また再編成による市道の統合整備により増減を算出				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	1,090	1,092	1,067	1,067	
	実績値	1,090	1,092			
	達成度 (%)	100.0	100.0	-	-	
	目標値設定の考え方	増減により台帳整備すべき市道の延長				
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	市道延長・面積の増減	指標単位 k m			
	指標説明 (指標算出方法等)	新設道路・県道より移管された道路・新規認定道路による市道延長等の増加、また再編成による市道の統合整備により増減を算出				
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	目標値	1,090	1,092	1,067	1,067	
	実績値	1,090	1,092			
	達成度 (%)	100.0	100.0	-	-	
	目標値設定の考え方	増減により台帳整備すべき市道の延長				
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	直接事業費 (千円)	8,846	9,474	20,000	25,000	
	業務委託料	8,846	9,474	20,000	25,000	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他					
	一般財源[A]	8,846	9,474	20,000	25,000	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	27.9	
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
年間経費([A]+[B])	8,846	9,474	20,000	25,000		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.2	0.2	0.4	0.5		
受益者人数(53,800)1人当り経費(千円)	0.2	0.2	0.4	0.5		
経費に関する補足説明						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
達成度	活動結果指標目標達成度	%	100.0	100.0	-	-	(5点評価) 3
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 市道の経年変化や、道路に影響を及ぼす事務事業を行う庁内各課からの市道の補正箇所を把握し、道路台帳図・道路台帳調書等をより正確に整備する必要がある。						
有効性	成果指標目標達成度	%	100.0	100.0	-	-	(5点評価) 4
	成果向上率	%	-	0.2	-	-	
	(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 旧町間にまたがる複数路線を、再編成により1路線として管理することができ、道路管理者として道路管理を適切に行うことができる。また、道路台帳図データを取得することにより、将来的にはGIS上において、多目的に活用できる。						
効率性	活動実績1単位当り経費	千円	8.1	8.7	-	-	(5点評価) 5
	効率性増減率	%	-	6.9	-	-	
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 平成19年度に都市計画課で実施した「南あわじ市数値地形図作成業務」で、道路部の数値データも取得しており、そのデータを最大限活用すれば、より安価で効率よく道路台帳整備を行うことができる。また、道路台帳図をデジタル化することにより、今後の更新費用が安価になりコストダウンを図ることができる。						
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 合併市町においては、15年間市町村の合併に関する特例に関する法律により旧町の道路台帳数値を基に地方交付税が算定されるか、又は新市の統一台帳の旧町の数値比例案分により算定されることになっていることから、今後、道路管理を適切に行うためにもできるだけ速やかに新市の統一した道路台帳を作成する必要がある。						(5点評価) 5
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成21年度にできる改善・改革	平成22年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>平成20年度に引き続き市全体の道路橋梁台帳を整備する。整備にあたっては、平成19年度に都市計画課で実施した「南あわじ市数値地形図作成業務」により取得した道路部の数値データを最大限活用するなど、より安価で行うように努める。</p>	<p>前年度の2か年で実施した道路橋梁台帳整備事業で作成した道路台帳データ等の更新整備を行う。</p>
(現状維持以外の改善方法)		<p>道路橋梁台帳整備事業により道路台帳データを南あわじ市が所有できるため、一般競争入札で業務委託することができるようになる。</p>
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
		<p>道路台帳図を紙ベースでなく、データとして管理できるので、必要な箇所を中心的に、縮尺も自由にプリントアウトできる。また、道路台帳図データと地形図データを重ねてパソコン画面上および道路台帳図上で閲覧できるため、見辛かった道路台帳図も見やすくなる。</p>
	コスト面	コスト面
		<p>随意契約でなく、一般競争入札で業務委託できるため、コストダウンを図ることができる。</p>
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>平成19年度に都市計画課で実施した「南あわじ市数値地形図作成業務」で、道路部の数値データも取得しており、そのデータを最大限活用すれば、より安価で効率よく道路台帳整備を行うことができる。しかし、もし、事業が延期または中止にならなければ、その数値データが無駄になり、その数値データを活用できなければ、道路台帳整備は高価なものとなりうる。</p>	